

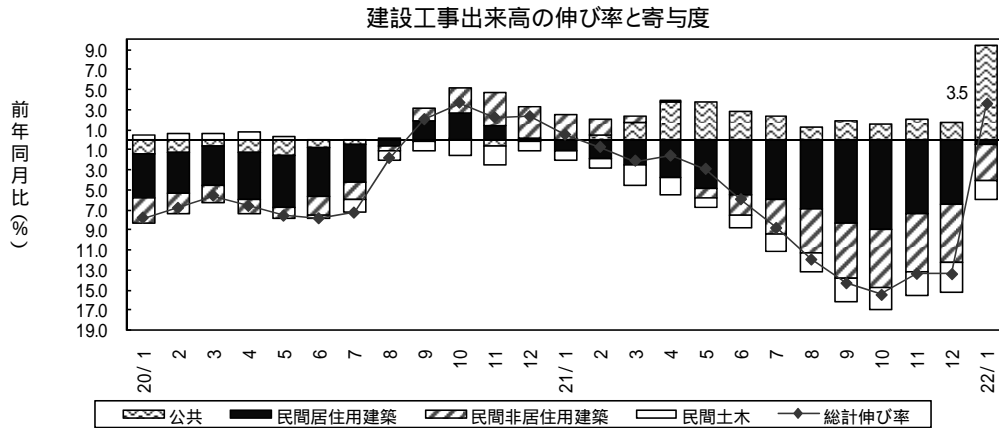
1. 建設投資の概況

(1) 建設工事出来高

1月の建設工事出来高は、全体で3兆9,083億円と前年同月比3.5%増加した。

公共は、建築が2,101億円（前年同月比22.7%増）土木が1兆6,344億円（同24.1%増）となり、全体では1兆8,445億円（同24.0%増）となった。

民間は、建築が1兆6,719億円（前年同月比8.5%減）土木が3,920億円（同14.8%減）となり、全体では2兆0,638億円（同9.8%減）となった。



(単位：億円)

区分		総計	民間	建築		土木	公共	
				居住用	非居住用			
年度年月								
年	18年度	528,833	353,226	289,561	195,441	94,119	175,608	
	19	500,514	330,587	261,618	176,043	85,575	169,927	
	20	491,749	322,516	258,227	168,924	89,302	169,232	
年	19年	509,301	338,004	269,815	181,476	88,339	171,297	
	20	492,828	324,583	258,653	171,208	87,445	168,244	
	21	454,057	276,281	219,399	144,725	74,674	177,776	
月	21年10月	38,795	21,953	17,563	11,914	5,649	16,841	
	11	40,240	22,025	17,655	12,080	5,575	18,215	
	12	41,743	22,076	17,658	12,169	5,489	19,667	
	次	22年1月	39,083	20,638	16,719	11,574	5,145	18,445

(前年比・%)

年	18年度	1.4	4.3	3.9	3.7	4.3	6.2	11.0	
	19	5.4	6.4	9.6	9.9	9.1	8.3	3.2	
	20	1.8	2.4	1.3	4.0	4.4	6.8	0.4	
年	19年	1.4	4.3	3.9	3.7	4.3	6.2	11.0	
	20	5.4	6.4	9.6	9.9	9.1	8.3	3.2	
	21	1.8	2.4	1.3	4.0	4.4	6.8	0.4	
月	21年1月	0.5	0.8	2.9	3.4	16.6	6.9	0.0	
	2	0.7	2.0	0.5	5.7	10.3	7.3	1.3	
	3	2.1	6.2	4.1	8.1	3.9	12.6	4.5	
	4	1.6	8.1	7.2	11.0	0.1	11.2	11.3	
	5	2.9	9.2	9.9	12.6	4.7	6.4	14.3	
	6	5.9	12.0	12.9	14.4	10.0	8.5	10.1	
	7	8.8	15.6	16.1	15.2	17.8	13.3	8.5	
	8	11.9	18.9	19.9	18.1	23.3	14.5	4.1	
	9	14.3	23.9	25.0	22.8	29.2	19.1	6.1	
	次	10	15.4	26.2	27.8	25.5	32.2	19.3	4.5
		11	13.3	24.6	25.8	22.2	32.5	19.2	5.7
		12	13.4	24.8	24.9	20.2	33.6	24.5	4.6
累計	4月～1月	8.9	17.8	18.4	16.9	21.4	15.3	8.9	

資料：国土交通省「建設総合統計」

注)平成21年度より、建設工事進捗率及び冬期修正率を変更していますので、対前年同月比を分析する際にはご注意ください。

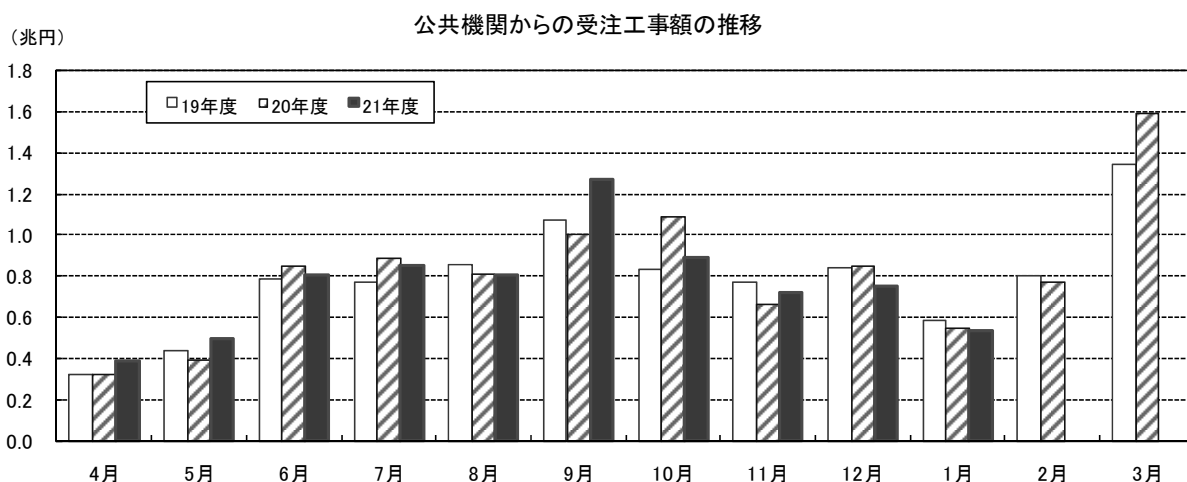
(2) 公共機関からの受注工事

1月の公共機関からの受注工事額（1件当たり500万円以上の工事が対象。以下同じ。）は5,349億円
で、前年同月比1.5%減少（2ヶ月連続）した。うち国の機関からは2,099億円で同1.8%減少（2ヶ月
連続）、地方の機関からは3,250億円で同1.3%減少（2ヶ月連続）した。

工事分類別でみると、鉄道・軌道（前年同月比246.8%増、寄与度+4.3）、上・工業水道（同104.9%増、
寄与度+2.5）等が増加し、農林水産（同57.6%減、寄与度-4.0）、治山・治水（同29.7%減、寄与度-3.0）
等が減少した。

さらに、発注機関・工事分類別でみると、政府関連企業等の道路工事（寄与度+6.0）、独立行政法人の
鉄道・軌道（寄与度+3.8）、都道府県の教育・病院（寄与度+1.9）等のプラスの寄与度大きい。

1月の大手50社調査では、公共工事は前年同月比13.7%増加（2ヶ月ぶり）した。

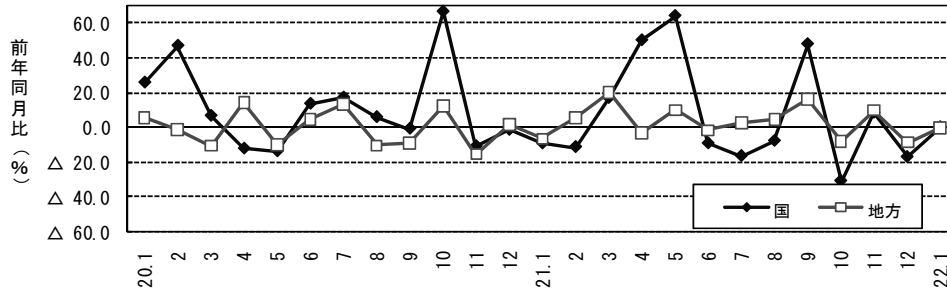


区分	総計	国の機関					地方の機関					
		小計	国	独立行政法人	政府関連企業等	小計	都道府県	市区町村	地方公営企業	その他		
年度年月												
年	18年度	△ 12.8	△ 10.0	△ 3.6	-	-	△ 14.2	△ 15.2	△ 12.8	△ 16.9	△ 13.8	
	19	0.5	16.9	8.7	50.1	18.6	△ 8.0	△ 2.8	△ 11.4	△ 2.5	△ 33.5	
度	20	3.3	6.5	7.9	△ 8.6	13.6	1.2	△ 0.8	2.2	1.2	14.0	
年	19年	△ 3.6	11.3	2.2	25.6	85.5	△ 10.8	△ 7.8	△ 10.8	△ 11.7	△ 34.8	
	20	3.8	12.7	11.4	17.3	12.9	△ 1.5	△ 1.3	0.1	△ 5.8	△ 11.7	
	21	3.3	2.7	11.8	△ 12.5	△ 6.5	3.7	△ 1.3	9.6	△ 4.1	14.7	
月	21年1月	△ 7.6	△ 9.3	△ 11.8	△ 2.3	△ 8.8	△ 6.5	△ 10.7	△ 7.9	32.0	13.1	
	2	△ 4.9	△ 11.4	△ 8.5	△ 22.9	△ 6.7	5.7	△ 2.2	8.4	△ 6.0	98.3	
	3	18.1	16.8	27.4	△ 5.7	0.4	19.8	19.0	11.6	43.4	74.2	
	4	21.8	50.0	68.3	34.2	29.3	△ 3.2	31.8	△ 4.4	△ 24.4	△ 56.4	
	5	27.5	64.0	50.0	18.1	107.9	10.1	36.6	16.4	△ 37.2	△ 47.1	
	6	△ 4.0	△ 9.3	33.7	△ 3.3	△ 37.6	△ 1.6	△ 29.1	26.7	△ 50.1	4.9	
	7	△ 3.9	△ 16.6	△ 15.1	△ 43.7	△ 9.8	2.5	1.8	4.1	19.9	△ 40.0	
	8	0.2	△ 7.9	24.7	△ 55.3	△ 41.2	4.5	△ 6.6	8.4	41.4	37.9	
	9	26.7	47.8	65.0	△ 12.6	43.9	16.4	17.6	16.3	3.6	43.2	
	10	△ 17.3	△ 30.9	△ 19.1	8.0	△ 56.1	△ 8.1	△ 13.0	△ 3.0	△ 22.1	71.7	
	11	9.3	8.3	△ 0.6	△ 9.4	39.9	9.8	△ 15.3	29.3	76.0	68.4	
	12	△ 11.5	△ 17.1	△ 35.2	△ 19.9	20.1	△ 8.5	△ 6.9	△ 5.2	△ 33.8	34.3	
次	22年1月	△ 1.5	△ 1.8	△ 42.1	6.8	72.8	△ 1.3	△ 16.6	21.2	△ 4.4	0.5	
累計	4月～1月	2.0	1.8	8.0	△ 11.2	△ 2.1	2.1	△ 4.6	11.2	△ 10.4	1.1	

資料：国土交通省「建設工事受注動態統計」

注）平成17年10月より「政府関連企業等」から「独立行政法人」へ移行した法人が存在することから、「独立行政法人」と「政府関連企業等」の平成18年度の前年比は計算できない。

発注機関別受注工事額の伸び率



政府建設投資関連指標

(単位:億円)

	公共機関からの受注工事				公共工事 請負金額(※)	出来高 (総統計)	公的固定 資本形成
	総計	[国の機関]	[地方の機関]	大手50社			
19年度	94,329	37,381	56,948	21,031	117,818	169,927	203,439
20	97,405	39,793	57,612	25,977	117,951	169,232	196,274
21年Ⅰ期	28,988	15,807	13,181	10,119	28,338	48,651	55,321
Ⅱ	16,988	6,701	10,288	3,459	32,131	35,422	39,970
Ⅲ	29,320	9,902	19,417	5,383	36,888	38,980	45,638
Ⅳ	23,670	7,904	15,766	5,181	29,765	54,723	59,595
21年8月	8,094	2,557	5,537	1,285	10,063	12,736	
9	12,721	4,881	7,839	2,548	14,314	14,724	
10	8,946	3,020	5,926	1,827	12,665	16,841	
11	7,238	2,462	4,777	1,610	8,441	18,215	
12	7,486	2,423	5,063	1,744	8,658	19,667	
22年1月	5,349	2,099	3,250	1,419	5,791	18,445	

(前年比・%)

	公共機関からの受注工事				公共工事 請負金額(※)	出来高 (総統計)	公的固定 資本形成
	総計	[国の機関]	[地方の機関]	大手50社			
19年度	0.5	16.9	△ 8.0	0.8	△ 4.1	△ 3.2	△ 4.2
20	3.3	6.5	1.2	23.5	0.1	△ 0.4	△ 3.5
21年Ⅰ期	5.8	3.6	8.6	7.3	7.8	2.1	△ 2.1
Ⅱ	9.2	24.4	1.2	△ 14.5	13.0	11.8	7.4
Ⅲ	8.7	9.6	8.3	3.1	11.2	6.1	1.9
Ⅳ	△ 8.6	△ 17.4	△ 3.5	△ 21.4	6.3	4.9	1.1
21年1月	△ 7.6	△ 9.3	△ 6.5	△ 26.0	1.9	0.0	
2	△ 4.9	△ 11.4	5.7	△ 26.5	△ 2.8	1.3	
3	18.1	16.8	19.8	46.3	15.3	4.5	
4	21.8	50.0	△ 3.2	12.8	20.5	11.3	
5	27.5	64.0	10.1	△ 2.9	2.5	14.3	
6	△ 4.0	△ 9.3	△ 1.6	△ 26.9	12.7	10.1	
7	△ 3.9	△ 16.6	2.5	△ 24.7	2.5	8.5	
8	0.2	△ 7.9	4.5	△ 16.0	8.7	4.1	
9	26.7	47.8	16.4	55.7	22.1	6.1	
10	△ 17.3	△ 30.9	△ 8.1	△ 39.4	8.3	4.5	
11	9.3	8.3	9.8	27.9	△ 0.0	5.7	
12	△ 11.5	△ 17.1	△ 8.5	△ 24.7	10.3	4.6	
22年1月	△ 1.5	△ 1.8	△ 1.3	13.7	△ 3.8	24.0	
4月~1月	2.0	1.8	2.1	△ 9.7	9.3	8.9	

資料：国土交通省「建設工事受注動態統計」「建設総統計」、内閣府「四半期別GDP速報」

北海道建設業信用保証(株)・東日本建設業保証(株)・西日本建設業保証(株)「公共工事前払金保証統計」

注)公的固定資本形成は、名目、原系列値。

(※)公共機関からの受注工事が請負契約時点ベースでの請負契約の全体額を計上しているのに対し、公共工事請負金額は前払保証契約時点ベースでの前払保証の対象となる請負金額を計上している等の理由により、必ずしも両者の傾向は一致しない。

(3) 住宅

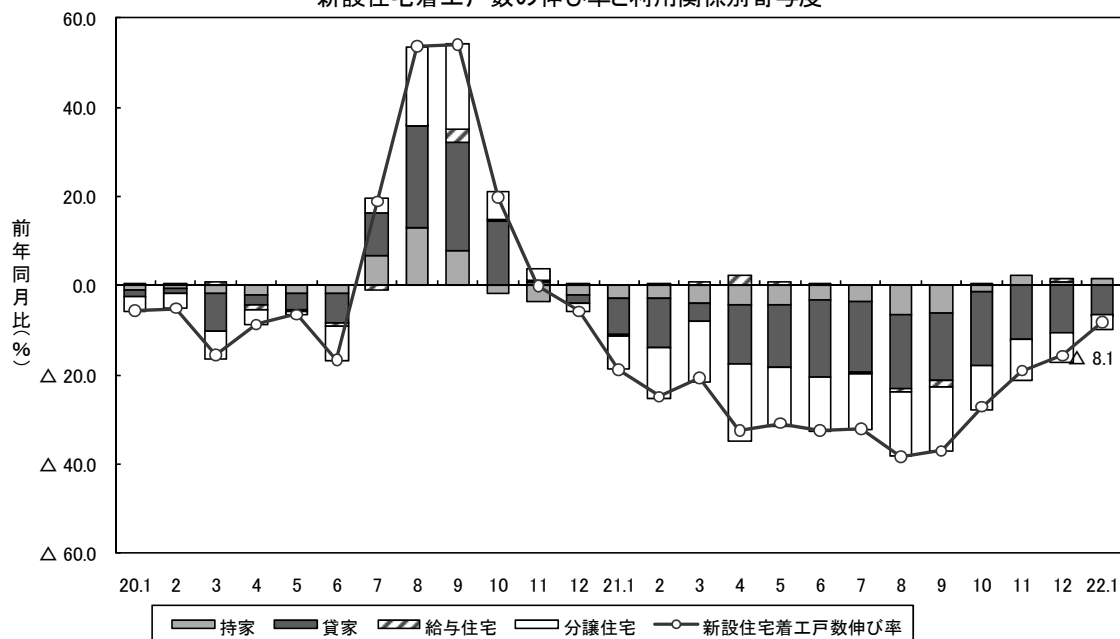
1月の着工は69,451戸。前年同月比で見ると、持家は増加、貸家、分譲住宅は減少したため、全体で8.1%減少（14ヶ月連続）となった。

季節調整済年率換算値の推移をみると、平成20年10-12月期996千戸（前期比10.9%減）、平成21年1-3月期895千戸（同10.1%減）、4-6月期768千戸（同14.2%減）、7-9月期717千戸（同6.6%減）、10-12月期788千戸（同9.9%増）の後、1月863千戸となった。

新設住宅着工戸数（戸、前年比・%）

区分 年度年月		総戸数	総計	持家	貸家	分譲住宅	季節調整済 年率換算値	
							マンション	総戸数 (千戸)
年 度	18年度	1,285,246	2.9	0.9	3.9	3.3	4.8	総戸数 (千戸)
	19	1,035,598	△ 19.4	△ 12.3	△ 19.9	△ 26.1	△ 34.0	
	20	1,039,180	0.3	△ 0.4	3.2	△ 3.5	3.1	
年	19年	1,060,741	△ 17.8	△ 12.2	△ 18.7	△ 22.3	△ 29.2	—
	20	1,093,485	3.1	1.2	5.2	1.8	8.1	—
	21	788,410	△ 27.9	△ 10.6	△ 30.8	△ 43.7	△ 58.0	—
月 次	21年 1月	70,688	△ 18.7	△ 10.8	△ 18.4	△ 26.4	△ 25.1	940
	2	62,303	△ 24.9	△ 9.9	△ 28.5	△ 34.4	△ 35.6	874
	3	66,628	△ 20.7	△ 13.1	△ 11.2	△ 42.1	△ 47.8	876
	4	66,198	△ 32.4	△ 15.8	△ 33.0	△ 54.3	△ 65.9	789
	5	62,805	△ 30.8	△ 14.9	△ 33.3	△ 48.1	△ 60.3	771
	6	68,268	△ 32.4	△ 10.5	△ 38.4	△ 50.0	△ 68.2	746
	7	65,974	△ 32.1	△ 12.2	△ 36.0	△ 50.1	△ 71.9	740
	8	59,749	△ 38.3	△ 20.0	△ 42.2	△ 53.5	△ 71.7	688
	9	61,181	△ 37.0	△ 19.7	△ 39.0	△ 52.5	△ 72.3	711
	10	67,120	△ 27.1	△ 4.9	△ 35.6	△ 40.6	△ 63.4	763
	11	68,198	△ 19.1	8.3	△ 25.3	△ 38.2	△ 63.7	792
	12	69,298	△ 15.7	3.0	△ 22.7	△ 27.4	△ 47.0	819
22年 1月	64,951	△ 8.1	5.4	△ 14.5	△ 11.7	△ 25.9	863	
累計	4月～1月	653,742	△ 28.2	△ 9.3	△ 32.5	△ 44.3	△ 62.7	—

新設住宅着工戸数の伸び率と利用関係別寄与度



資料：国土交通省「建築着工統計」

<持家>

1月の着工は21,144戸。中国、四国、沖縄で減少、その他の地域で増加し、全体では前年同月比5.4%増加（3ヶ月連続）した。

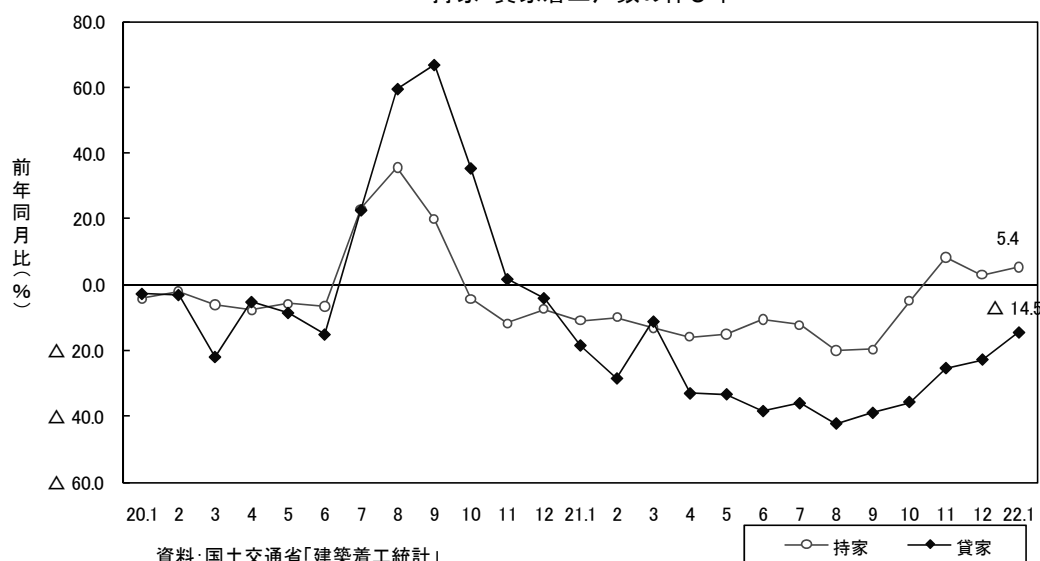
<貸家>

1月の着工は27,040戸。北海道、沖縄で増加、その他の地域で減少し、全体では前年同月比14.5%減少（14ヶ月連続）した。

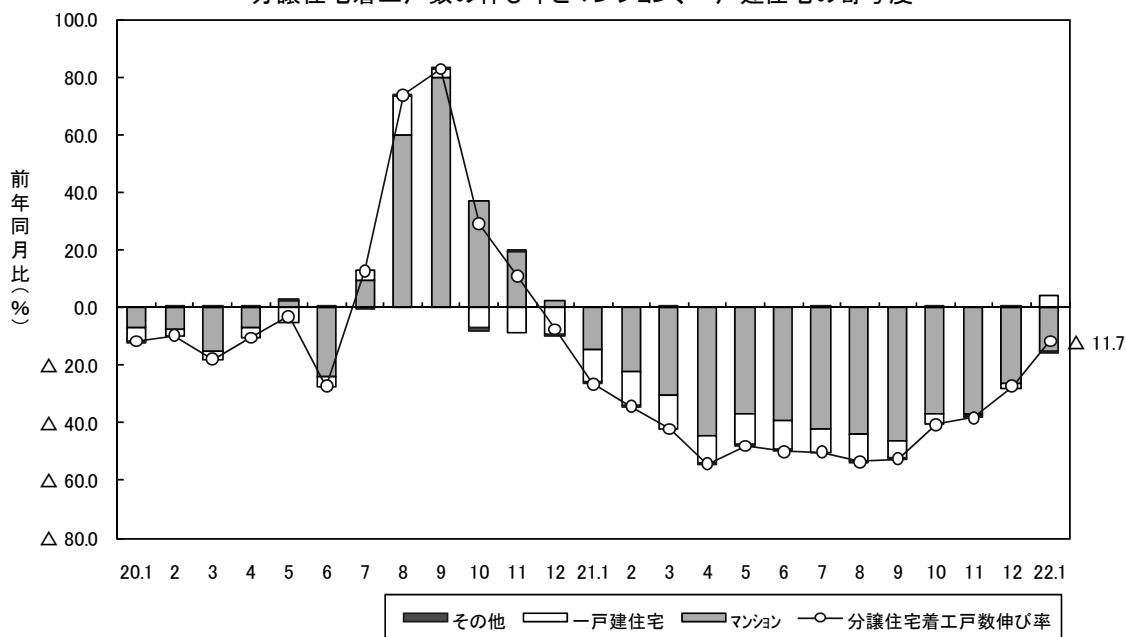
<分譲>

1月の着工は16,276戸。北海道、東北、近畿、九州で増加し、その他の地域で減少した。全体では前年同月比11.7%減少（14ヶ月連続）した。マンションは7,959戸で、首都圏は減少（4,907戸、前年同月比18.4%減、13ヶ月連続）、中部圏は減少（474戸、同61.2%減、10ヶ月連続）、近畿圏は減少（1,531戸、同15.0%減、14ヶ月連続）、その他の地域は減少（1,047戸、同38.6%減、13ヶ月連続）し、全体では同25.9%減少（13ヶ月連続）した。一戸建住宅は8,182戸で、同7.6%増加（16ヶ月ぶり）した。

持家・貸家着工戸数の伸び率



分譲住宅着工戸数の伸び率とマンション、一戸建住宅の寄与度



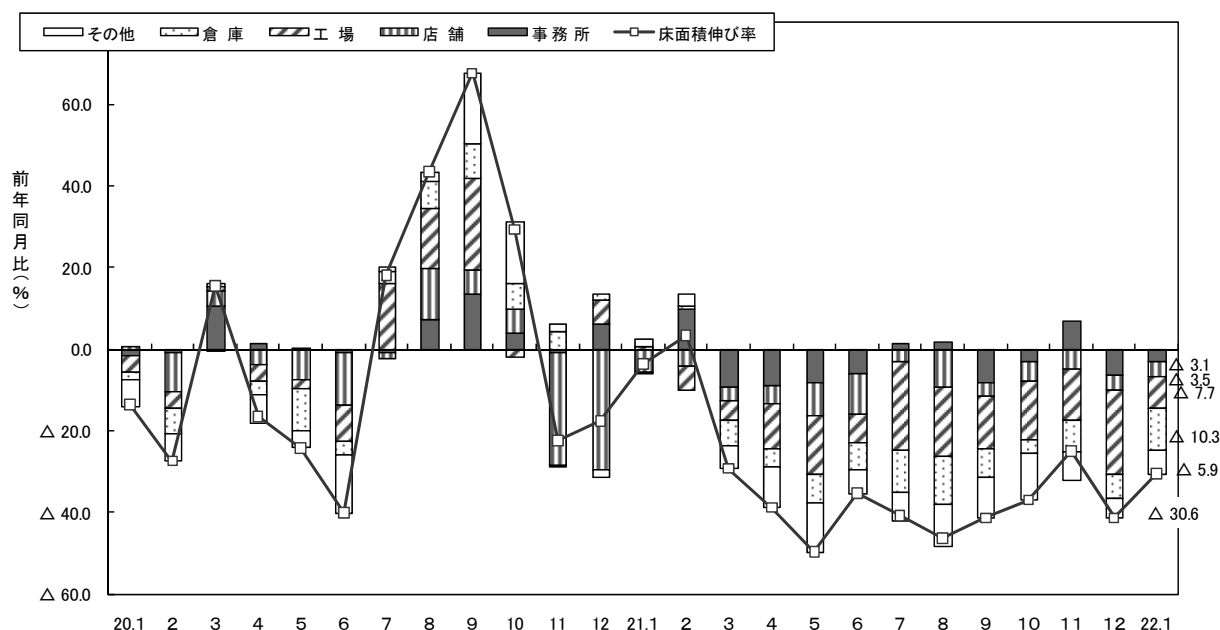
(4) 民間非居住建築

1月の着工床面積は279万㎡で、前年同月比30.6%減少(11ヶ月連続)した。

着工床面積を用途別にみると、事務所は43万㎡で前年同月比22.6%減少(2ヶ月連続)、店舗は54万㎡で同20.6%減少(15ヶ月連続)、工場は45万㎡で同40.8%減少(12ヶ月連続)、倉庫は31万㎡で同57.3%減少(11ヶ月連続)した。

日本銀行「全国企業短期経済観測調査」(平成21年12月実施)で平成21年度の設備投資計画をみると、製造業(大企業)は前年度比28.2%減少(平成20年度前年度比7.2%減少)となり、非製造業(大企業)は同5.5%減少(平成20年度同6.2%減少)となった。また、全産業(大企業)の生産・営業用設備判断DI(過剰-不足)をみると、「最近」は18、「先行き」は16となり、設備過剰感はやや弱まっているものの依然高水準にある。

民間非居住用建築物着工床面積の伸び率と用途別寄与度



区分		床面積					工事費予定額				
		総計	事務所	店舗	工場	倉庫	総計	事務所	店舗	工場	倉庫
年	18年度	0.6	2.5	△ 9.5	8.8	8.9	3.2	2.1	△ 3.1	10.3	17.4
	19	△ 12.2	△ 5.2	14.9	△ 21.9	△ 19.1	△ 8.3	3.2	13.6	△ 15.1	△ 13.4
	20	△ 7.6	14.8	△ 36.3	4.7	△ 4.6	11.7	33.3	△ 24.9	35.2	13.9
年	19年	△ 11.6	△ 8.0	13.9	△ 21.0	△ 15.5	△ 10.6	△ 7.8	11.2	△ 17.4	△ 8.1
	20	△ 7.3	22.0	△ 33.6	4.9	△ 5.1	11.3	43.1	△ 20.8	38.9	11.4
	21	△ 33.2	△ 20.0	△ 33.8	△ 50.6	△ 43.0	△ 26.3	4.0	△ 34.4	△ 55.6	△ 45.5
月次	21年1月	△ 3.5	0.2	△ 24.8	4.8	△ 3.3	17.1	18.3	△ 25.7	50.6	8.0
	2	3.3	72.8	△ 25.3	△ 24.6	5.2	36.7	121.6	△ 21.4	△ 17.4	21.7
	3	△ 29.2	△ 46.3	△ 20.4	△ 20.4	△ 51.0	△ 24.8	△ 37.3	△ 13.6	△ 38.5	△ 45.4
	4	△ 38.8	△ 48.0	△ 30.3	△ 48.8	△ 34.8	△ 31.3	△ 38.1	△ 18.9	△ 41.5	△ 39.7
	5	△ 49.7	△ 57.6	△ 48.1	△ 60.3	△ 51.1	△ 50.8	△ 54.4	△ 47.4	△ 52.6	△ 59.0
	6	△ 35.3	△ 41.5	△ 46.4	△ 33.5	△ 46.1	△ 25.4	△ 6.8	△ 49.8	△ 41.0	△ 45.0
	7	△ 40.7	16.7	△ 18.7	△ 71.3	△ 68.6	△ 46.2	45.2	△ 4.9	△ 85.8	△ 67.3
	8	△ 46.4	15.8	△ 55.1	△ 72.5	△ 63.8	△ 36.3	74.4	△ 63.0	△ 72.9	△ 75.6
	9	△ 41.3	△ 59.0	△ 25.7	△ 55.7	△ 47.8	△ 40.1	△ 50.5	△ 28.8	△ 59.9	△ 49.2
	10	△ 36.9	△ 26.3	△ 34.2	△ 58.7	△ 31.8	△ 34.3	△ 17.4	△ 50.1	△ 62.0	△ 22.6
	11	△ 25.1	56.3	△ 34.6	△ 55.0	△ 55.8	△ 3.6	119.3	△ 28.8	△ 54.6	△ 58.2
	12	△ 41.3	△ 35.7	△ 33.3	△ 71.7	△ 42.5	△ 34.6	△ 15.0	△ 41.2	△ 67.6	△ 52.3
	22年1月	△ 30.6	△ 22.6	△ 20.6	△ 40.8	△ 57.3	△ 24.8	△ 9.7	46.4	△ 58.6	△ 63.3
累計	4月~1月	△ 45.1	△ 32.4	△ 43.6	△ 62.7	△ 56.1	△ 35.0	△ 0.2	△ 39.4	△ 65.4	△ 55.8

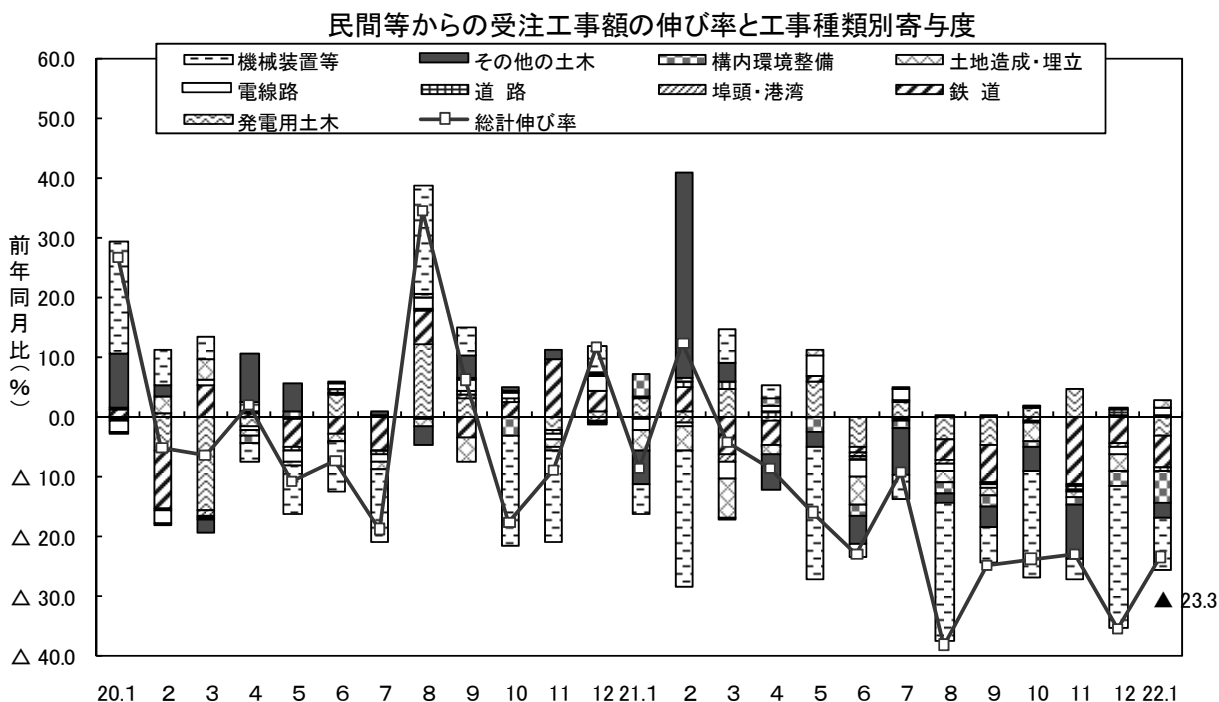
資料：国土交通省「建築着工統計」

(5) 民間等からの受注工事（土木工事及び機械装置等工事）

1月の土木工事及び機械装置等工事の受注工事額（1件当たり500万円以上の工事が対象。以下同じ。）は2,064億円で、前年同月比23.3%減少（11ヶ月連続）した。

発注者別でみると、不動産業（前年同月比177.6%増、寄与度+2.1）、電気・ガス・熱供給・水道業（前年同月比5.2%増、寄与度+1.2）等が増加し、製造業（同35.1%減、寄与度-8.4）、運輸業、郵便業（同36.8%減、寄与度-6.9）等が減少した。

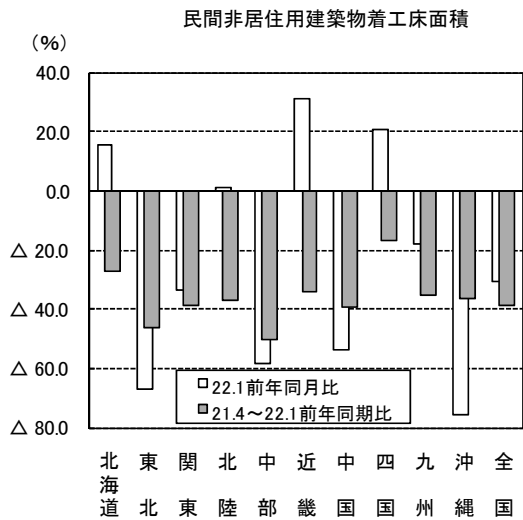
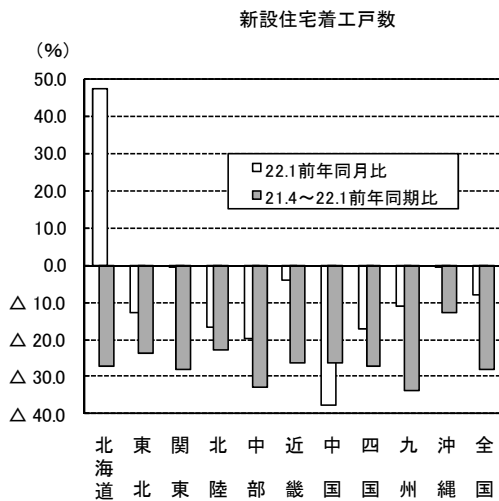
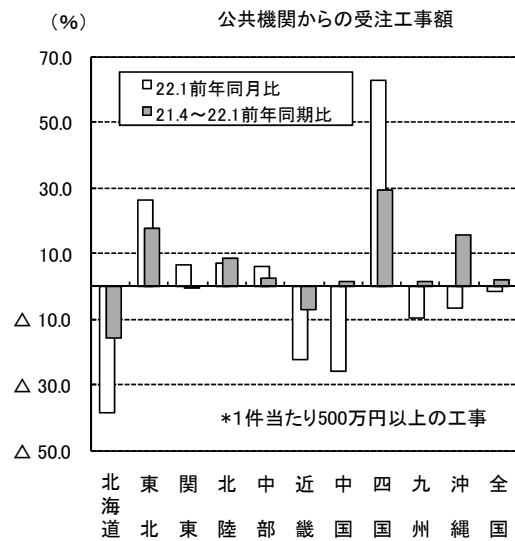
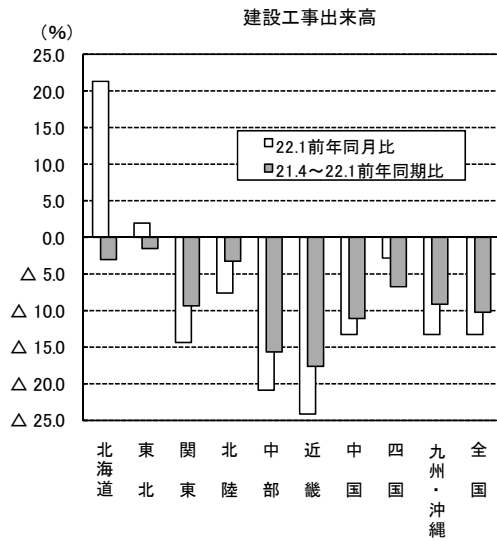
工事種類別でみると、土地造成・埋立工事（寄与度+1.2）、電線路工事（寄与度+1.2）等が増加し、機械装置等工事（寄与度-8.6）、鉄道工事（寄与度-5.2）等が減少した。



(前年比・%)

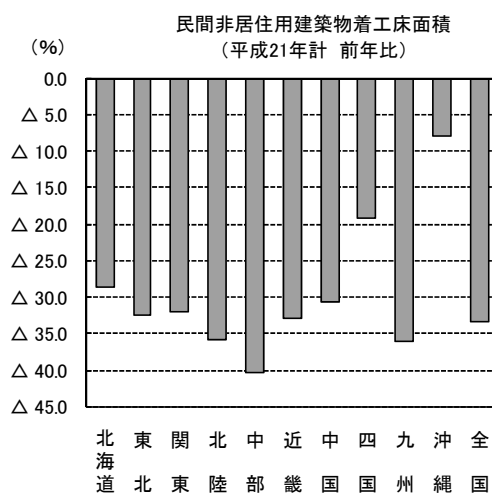
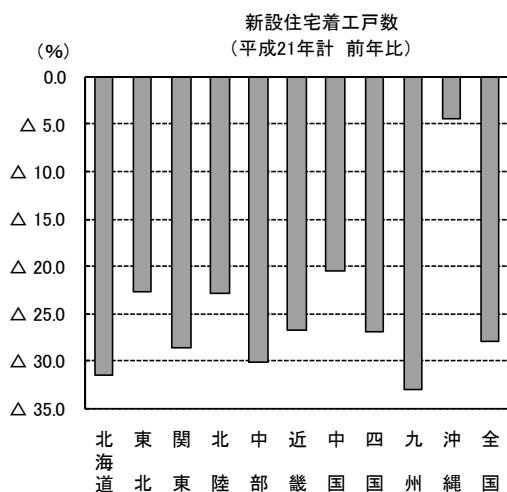
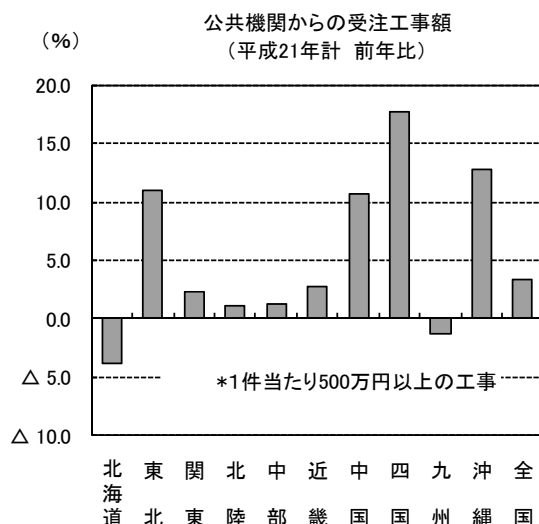
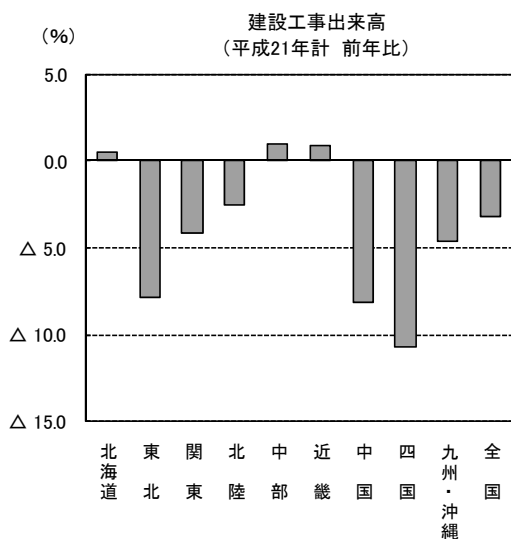
年度月日		区分	総計	発電用土木	鉄道	埠頭・港湾	道路	電線路	土地造成・埋立	構内環境整備	機械装置等
年	18年度		13.5	110.9	32.2	△ 1.0	△ 1.0	17.6	△ 24.4	25.1	10.6
	19		12.5	△ 39.8	7.7	△ 23.0	△ 9.7	△ 7.2	18.1	3.1	35.1
	20		△ 1.7	68.8	△ 1.7	△ 22.9	21.3	△ 2.0	△ 30.3	0.8	△ 11.4
年	19年		17.3	85.4	20.4	△ 8.7	△ 2.7	△ 6.1	△ 1.6	△ 6.5	△ 0.7
	20		△ 1.1	△ 22.5	1.1	△ 7.7	10.4	13.1	1.8	△ 4.1	△ 30.8
	21		△ 16.9	15.7	△ 17.6	△ 39.5	△ 2.5	52.0	△ 5.9	△ 38.9	△ 34.4
次	21年1月		△ 8.4	291.5	△ 0.6	△ 36.1	118.4	△ 15.1	△ 59.9	163.5	△ 12.2
	2		12.5	90.1	29.0	△ 80.1	39.5	△ 5.3	△ 50.3	26.0	△ 47.2
	3		△ 4.2	238.6	△ 22.3	△ 70.7	△ 11.5	△ 38.6	△ 60.6	△ 24.1	16.5
	4		△ 8.4	△ 21.0	△ 23.0	△ 3.5	△ 24.9	6.4	△ 24.5	40.9	6.5
	5		△ 15.9	243.2	6.7	△ 4.7	△ 11.9	41.1	15.5	△ 61.4	△ 48.6
	6		△ 22.8	△ 50.0	△ 7.1	△ 49.4	11.4	△ 23.0	△ 54.2	△ 49.3	△ 7.1
	7		△ 9.2	163.5	△ 3.8	255.6	△ 17.4	8.0	2.2	△ 32.4	△ 10.3
	8		△ 38.0	△ 31.7	△ 22.3	△ 45.6	△ 37.4	△ 15.8	△ 43.4	△ 50.5	△ 54.4
	9		△ 24.7	△ 50.4	△ 36.0	0.5	△ 41.3	△ 6.6	△ 23.6	△ 60.3	△ 16.5
	10		△ 23.7	78.8	△ 3.9	21.1	87.1	2.8	△ 53.6	△ 28.0	△ 36.7
	11		△ 22.8	178.4	△ 49.9	△ 43.3	△ 59.7	△ 2.2	△ 15.2	△ 51.9	△ 9.2
	12		△ 35.4	13.1	△ 28.9	△ 51.5	△ 35.4	△ 14.5	△ 39.0	△ 72.9	△ 49.1
1		△ 23.3	△ 68.0	△ 33.1	92.4	△ 53.4	9.7	49.3	△ 81.1	△ 21.2	
累計	4月～1月		△ 23.1	△ 10.2	△ 23.3	△ 18.0	△ 24.3	△ 0.0	△ 25.5	△ 49.8	△ 27.7

(6) 地域別動向



区分 地域	出来高		受注・着工			企業	雇用			
	建設 工事 出来高 4月～1月 前年比(%)	公共機関 受注 4月～1月 前年比(%)	新設 住宅 4月～1月 前年比(%)	民間非 居住用 建築物 4月～1月 前年比(%)	民間等 受注 (土木・機械) 4月～1月 前年比(%)	建設業 倒産 件数 4月～2月 前年比(%)	建設技能 労働者不足率 (6職種計・原数値) 1月		有効求人 倍率 (季調済) 1月	
							%	前年差	倍	前月差
北海道	△ 3.1	△ 15.8	△ 27.2	△ 27.2	16.0	△ 37.2	△ 3.1	△ 1.0	0.38	0.01
東北	△ 1.4	17.9	△ 23.8	△ 46.0	△ 8.3	△ 28.4	△ 0.9	1.1	0.36	0.03
関東	△ 9.4	△ 0.5	△ 27.8	△ 38.9	△ 25.4	8.1	△ 2.3	△ 1.0	0.46	0.02
北陸	△ 3.3	8.7	△ 22.6	△ 37.0	△ 22.8	△ 11.1	△ 4.6	△ 1.7	0.51	0.04
中部	△ 15.6	2.7	△ 32.7	△ 50.2	△ 36.9	14.9	△ 1.3	△ 0.6	0.50	0.04
近畿	△ 17.7	△ 7.0	△ 26.5	△ 33.9	△ 36.2	△ 0.1	△ 8.3	△ 7.1	0.46	0.02
中国	△ 11.1	1.5	△ 26.4	△ 39.2	△ 9.1	△ 32.6	△ 1.3	△ 0.7	0.57	0.03
四国	△ 6.7	29.7	△ 27.2	△ 17.0	2.8	△ 18.3	△ 0.3	△ 1.1	0.55	0.02
九州	△ 9.1	1.6	△ 33.5	△ 35.0	△ 13.1	△ 28.0	0.3	0.4	0.41	0.02
沖縄	—	15.7	△ 12.7	△ 36.6	71.4	△ 59.3	0.7	△ 0.2	0.28	0.00
全国	△ 10.2	2.0	△ 28.2	△ 39.0	△ 23.1	△ 7.4	△ 2.5	△ 1.3	0.46	0.03

資料：国土交通省「建設総合統計」、「建設工事受注動態統計」、「建築着工統計」、「建設労働需給調査」、
帝国データバンク「全国企業倒産集計」、厚生労働省「職業安定業務統計」
注) 建設工事出来高の「九州」欄は、沖縄を含む値となっている。
建設技能労働者不足率は、プラスは不足、マイナスは過剰を意味する。
雇用に関する指標の前年差、前月差の単位は、ポイント。



区分 地域	出来高		受注・着工		
	建設 工事 出来高	公共機関 受注	新設 住宅	民間非 居住用 建築物	民間等 受注 (土木・機械)
	平成21年計	平成21年計	平成21年計	平成21年計	平成20年計
	前年比 (%)	前年比 (%)	前年比 (%)	前年比 (%)	前年比 (%)
北海道	△ 0.5	△ 3.8	△ 31.4	△ 28.6	53.7
東北	△ 2.3	11.0	△ 22.7	△ 32.5	△ 8.2
関東	△ 6.7	2.2	△ 28.6	△ 32.0	△ 22.4
北陸	△ 1.1	1.2	△ 22.8	△ 35.8	22.8
中部	△ 13.0	1.2	△ 30.1	△ 40.3	△ 28.9
近畿	△ 13.1	2.7	△ 26.7	△ 32.9	△ 31.7
中国	△ 8.8	10.7	△ 20.5	△ 30.6	△ 17.1
四国	△ 8.5	17.8	△ 27.0	△ 19.1	3.6
九州	△ 7.8	△ 1.3	△ 33.0	△ 36.0	△ 19.7
沖縄	-	12.8	△ 4.5	△ 7.9	48.4
全国	△ 7.9	3.3	△ 27.9	△ 33.2	△ 16.9

資料：国土交通省「建設総合統計」、「建設工事受注動態統計調査」、「建築着工統計調査」
注）建設工事出来高の「九州」欄は、沖縄を含む値となっている。